



VOICE



舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手がかりに、3つの人権のテーマについて学んでいきます。

20,000円(税抜)[C#7271]
字幕・副音声収録
活用の手引付き

平成29年度制作 DVD 38分
企画：東京都教育委員会 制作：東映株式会社

ようこそ「人権の教室」へ。

中学生・高校生合わせた3人が、
招待状を見ながら
休日の教室に集まってきます。

ただ、子供達は内心、「人権」について
いまひとつピンと来ていない様子。
さて、どんな授業が始まるのでしょうか…

1 時間目 オリンピック・パラリンピックと人権 - 声援 - 2020年に向けて



オリンピックである岩崎恭子さんが、7枚のパネルを使ってオリンピック・パラリンピックの歴史を紹介。その歴史は、実は「人権の歴史」でもあります。
パラリンピックの競技、音・声で通じ合う「ブラインド・サッカー」。視覚障害者・晴眼者が共に競技する姿に共感する3人。2020年に向けて自分なら何が出来るか。「声」を受け止め、発信していく大切さに気づいていきます…



一時間目講師 岩崎恭子さん
1992バルセロナ五輪
水泳平泳ぎ金メダリスト。
・H29年度「こころの東京革命」親善大使
・日本オリンピック委員会事業・広報専門委員

2 時間目 北朝鮮による拉致問題 - 発信 -



突然拉致され、連れ去られ、何十年も日本に帰ってこれない被害者がたくさんいるという事実。この人権侵害を解決したい、被害者を日本に戻したいと発信し続けている人たちがいます。北朝鮮にいる拉致被害者へ、日本からの声を発信し続けているラジオ。
また、都内のある中学校の授業の一環から発信された、横田早紀江さん・蓮池薫さんの声を紹介していきます。



二時間目講師 村尾健児さん
ラジオ「しおかぜ」の制作・広報を担当。
「しおかぜ」とは、北朝鮮による日本人拉致被害者へ向けて発信するためのラジオ放送。

3 時間目 子供の人権(いじめ問題) - 歌声 -



「窓の外には」～それはいじめにより死を選んだ小森香澄さんが書いた詩をもとに作られた曲。悲劇を二度と繰り返さないため、歌詞に込められた想いとは何でしょう。
またいじめをなくしていくには家庭と学校と地域の連携が欠かせません。「学校」と「家」の間～子供の第三の居場所を作っている地域の取組を取材しました。



三時間目講師 小森美登里さん
いじめ撲滅を目指すNPO法人ジェントルハートプロジェクト理事。1400箇所の学校や行政、46万人以上の人々に声を届けてきた。

 東映株式会社 教育映像部

<http://www.toei.co.jp/edu/>

● お買上げは

関東営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-6 ☎06-6345-9026
広島出張所 〒730-0015 広島市中区橋本町5-2 ☎082-511-2066
福岡出張所 〒810-0801 福岡市博多区中洲4-3-18 ☎092-262-3101